

令和3年度 地域福祉活動支援事業 ホームページ用報告書

神奈川県社協ホームページに掲載しますので、以下に助成事業の概要を簡潔に記入してください。

下記に必要事項を記入または○をつけてください。1ページ以内に収まるよう記入してください。

組織・グループ名	フルリール
グループの属性	①セルフヘルプグループ・当事者団体等 ②ボランティアグループ等 ③市町村社会福祉協議会及びそれを構成員とする実行委員会等
助成区分 該当テーマ等	①一般助成 ②協働モデル助成 ※②を選択した場合、本会の提示した該当テーマを記入 []
助成事業名	カサンドラ症候群当事者のための総合支援事業
<p>助成事業の概要〔目的・取組み概要・成果や参加者の様子・今後の展望等〕※活動の様子が分かる画像を2枚程度挿入。</p> <p><目的></p> <p>心理面、法律面、医療面等の複合的課題を抱えているカサンドラ症候群当事者に対し、課題解決を促進するため、総合相談窓口を支援の入り口とし、心理士、弁護士及び医師等の専門家が連携し、総合的支援を行う。</p> <p><取組み概要></p> <p>多くのカサンドラ症候群当事者は、心理面、法律面、医療面等の複合的課題を抱えている。こうした複合的な課題を抱えたカサンドラ症候群当事者を支援するために、総合相談窓口を支援の入口とし、心理士、弁護士、医師等の専門家が連携した総合的支援体制を構築する。</p> <p>なお、相談者の了解を得られた場合は、相談内容を相談対応者で共有し、効果的な支援に繋げていく。</p> <p><具体的な実施内容></p> <p>1 電話による総合相談の実施(相談及び課題把握の入口)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・傾聴を中心とする。無償ボランティアスタッフが担当。 ・日時 7月～9月 13時から18時 ・相談者数 延べ98名 ・長い間周囲に理解されず、精神面や生活面で追い込まれている状況を訴える相談者が多かった。 当会のセルフヘルプグループ活動(かたりば)の情報提供を行い、多くの方にご参加いただいた。 <p>2 支援調整会議の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合相談で受け付けた相談案件のうち、専門的支援を実施するか検討するとともに、カサンドラが抱える課題等について、フルリールスタッフ、心理士、弁護士、医師で共通認識を持ち、解決に向けての事業実施について意見交換を行った。 ・日時 8月7日(日)、9月4日(日)、10月2日(日) いずれも10時から11時 ・オンライン形式 <p>3 心理相談の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心理士による個別相談 ・日時 8月～1月 ・対面(会場:かながわ県民センター)及びオンライン形式 ・相談者数 20名 <p>4 法律相談の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弁護士による個別相談 ・日時 11月23日(火・祝)、1月23日(日) 両日とも15時15分から16時45分 ・会場 は一と友かながわ 	

・相談者数 両日とも3名

5 法律セミナーの実施

・弁護士による夫婦関係に関する法律セミナー「カサンドラが幸せになる法律セミナー」

・日時 11月23日(火・祝)、1月23日(日) 両日とも13時から15時

・会場 は一と友かながわ

・受講者数 両日とも30名

<成果>

相談者からは、「初めて理解してもらえる相談先に出会ってほっとしている」「廉価で個別相談を利用出来て大変ありがたい」「具体的解決方法を知ることができた」「かたりばで多くのカサンドラと交流でき、元気を頂いている」等の感想を頂いた。

法律セミナーにおいては、各回定員を超える申し込みがあり、関心の高さを感じた。参加者からは、「カサンドラに特化した法律セミナーの開催はとてもありがたい」「今後の選択のヒントになる」との声を多く頂いた。

以上のことから、カサンドラが抱える、「周囲に理解されにくい」「相談できる人がいない」「具体的解決方法がわからない」という課題解決に向けて、微力ではあるが寄与できたものと思われる。

<課題>

電話相談を担当する無償ボランティアスタッフのマンパワー不足、予算不足から個別相談のすべてのニーズに応えられないこと、また、専門家からの知識の提供及び会議等にお越しいただくことに対しての報酬は一般的に相当な額であり、今年度は各専門家の善意により無償で実施したが、予算不足により支援調整会議の今後の継続は困難（特に医師については新型コロナウイルス感染症拡大により業務負担が増えたことに伴い協力を得ることが極めて困難）であり、専門家(心理士、弁護士、医師)との連携の在り方を見直す必要があること等があげられる

<今後の展望>

令和3年度助成事業の実施結果から、次年度は、より多くのカサンドラに対し、支援の周知と拡大のため、フルリールの広報用チラシを作成し公的機関に配架するとともに、専門家(心理士、弁護士、医師)によるセミナー及びグループ形式の相談会を実施する。

フルリールに参加することでカサンドラから回復した者に対し、ボランティアへの参加を呼びかけ、マンパワー不足を解消していきたい。また、支援の必要性を社会に対し発信していくことで、市民、企業からの寄附等による自主財源確保に努めたい。



